

令和6年度 シラバス兼授業計画書

学科名	未来創造IT学科	科目名	基本情報技術者試験講座		
授業種類	理論	履修区分	必修	履修時期	通年
単位数	2単位	担当教員	伊藤治		
授業内容	《授業概要》 本授業では、基本情報技術者試験の試験範囲を基にITエンジニアが共通して理解しておくべき基本的な知識を学習します。それぞれの技術の内容だけではなく、それらの技術や関係する技術者がどのように連動して情報システムが成り立っているかも学びます。また、基本的なIT用語やIT業界の全体像を把握することで、今後ITスキルを習得していく上での学習基盤を形成することも目的にしております。				
	《学習の到達目標》 1 基礎的な専門書に記載されているIT用語が理解できる。 2 それぞれの技術が情報システムの中でどのような役割を担っているかを理解する。				
授業計画					
前期			後期		
4月	PC操作演習(基本操作)		9月	試験対策(コンピュータ基本要素)	
	PC操作演習(基本設定)			試験対策(ソフトウェアとマルチメディア)	
	PC操作演習(ソフトウェアインストール)			試験対策(基礎理論)	
5月	PC操作演習(ショートカットキー)		10月	試験対策(アルゴリズムとプログラミング)	
	基本用語学習(コンピュータを構成する要素基本用語学習)			試験対策(システム構成要素)	
	基本用語学習(Web技術)			試験対策(データベース)	
6月	基本用語学習(最新のIT技術)		11月	試験対策(ネットワーク)	
	基本用語学習(プログラミング)			試験対策(情報セキュリティ)	
	基本用語学習(データ関連)			試験対策(システム開発技術)	
7月	基本用語学習(ネットワーク)		12月	試験対策(マネジメント)	
	基本用語学習(セキュリティ)			模擬試験と解説①	
	基本用語学習(Webサービス)			模擬試験と解説②	
8月	基本用語学習(AI)		1月	模擬試験と解説③	
	基本用語学習(金融関連の技術)			模擬試験と解説④	
	前期まとめ			後期まとめ	
前期試験			後期試験		
教科書参考書	教科書 栢木先生の基本情報技術者教室 著者:栢木 厚 技術評論社				
成績評価	授業内の専門用語と各装置やソフトウェア等の役割について8割程度理解できることを到達目標とする。 【評価方法】 1.授業態度 20% 2.レポート 40% 3.前期試験と後期試験 40%				
履修上の留意点	それぞれの用語について、一言で説明できるようにすること。また、類似する用語については、違いや使い分けの仕方を明確に理解すること。基本情報技術者試験は希望者のみ受験。なお、申し込みは個人で行う。				